

広報 仁木 11

北海道仁木町広報紙 / 令和2年11月12日発行 通算792号

令和2年
2020

特集

仁木町産シャインマスカット

La・La・shine

●ひとの動き

人口 / 3,195人 (前月比+1) 男性 / 1,544人 (前月比+4) 女性 / 1,651人 (前月比-3) 世帯数 / 1,661世帯 (前月比+4)
外国人人口 / 62人 男性 / 14人 女性 / 48人 世帯数 / 58世帯 (令和2年10月31日現在 住民基本台帳より ※外国人人口及び世帯数は外数です)

仁木町産シャインマスカット

La・La・shine

ラ・ラ・シャイン



「仁木町産シャインマスカットの名前は『La・La・shine』です」仁木ハウスぶどう生産組合の山田徹組合長が名前の書かれたボードを掲げると、会場から大きな拍手が沸き起こりました。仁木ハウスぶどう生産組合シャインマスカット部会が生産するシャインマスカットに付けられたブランド名『La・La・shine』。

町が抱える農業従事者の高齢化、在来ぶどう品種の価格低迷など諸課題を乗り越え、北海道を代表する産地として持続的な発展を目指し、生産の拡大している「シャインマスカット」。

今回は、仁木町の果樹産業に新しい息吹を吹き込む、仁木町期待のシャインマスカット『La・La・shine』について取り上げます。

●『La・La・shine』・『ラ・ラ・シャイン』は新おたる農業協同組合の登録商標です

仁木町産シャインマスカット『La・La・shine』誕生

明治末期から始まり百年以上の歴史を持つ町のぶどう生産。長い年月で磨かれた生産技術と生産者の情熱で、時代の流れを乗り越えてきました。そして今、新しい時代の流れを掴むべく取り組んでいるシャインマスカット生産は、新たな一歩を踏み出します。

ネーミング発表会

10月4日、仁木ハウスぶどう生産組合シャインマスカット部会が生産する、シャインマスカットのネーミング発表会が開催され、集まった関係者およそ30名が仁木町果樹産業の新しい門出を祝いました。

同組合の山田徹組合長は「地元の皆さまに『ラ・ラ・シャイン』の素晴らしさを知っていただきたい」と挨拶。収穫量を増やし、ゆくゆくは海外輸出も視野に入れると展望を語りました。

鈴木直道知事表敬訪問

10月6日、生産組合の山田組合長、JA新おたる森代表理事組合長、佐藤町長らが鈴木直道北海道知事を表敬訪問。鈴木知事から『これまで苦労も多かったことと思う。道としても、コロナ禍の中で

道産農産物のPRを続けているところですので、皆さまも厳しい状況とは思いますが、更なる消費喚起に向け、一緒

に挑戦していただければと思います』と期待の言葉をいただきました。



①『La・La・shine』を手にもつ山田組合長（左）「良い武器も持っているだけでは意味がない。シャインマスカットを武器に皆さまと戦い抜いていきたい」と佐藤町長（右）②「道内果樹先駆者である自負を持って取り組んでいく」とJA新おたる森代表理事組合長③発表会にはおよそ30名が集まった④生産組合シャインマスカット部会のメンバー⑤「大変美味しい。ロゴマークもイメージにありますね」と鈴木直道知事（左）



環境・技

ひと房ひと房、手塩にかけて栽培。妥協の無い生産者の確かな栽培技術と、果樹栽培に適した仁木町の気候が品質を支えています。

美味しさ

種が無く、美しいマスカットグリーン
の果皮は、口にすると弾けるような心地
良い歯ごたえ。独特の芳香と爽やかな
甘さが口いっぱい広がります。

品質の証

ロゴマーク付きパッケージが『ラ・ラ・シャイン』の証。町観光管理センターには連日問合せの電話があり、店頭販売分もあつという間に完売のこと。

魅力を発信

12月には食体験オンラインイベントを企画。『ラ・ラ・シャイン』と町産ワイン、生産者のエピソードを添えて、町の魅力をリモートで発信する事業に取り組みます。



仁木町期待の高級ブランドぶどう

La・La・shine

『ラ・ラ・ラ』と心弾む感動を世界に

応募総数120通の中から選ばれた『ラ・ラ・シャイン』。考案者は仁木町在住の林幸治さん。林さんは「仁木町民にとって、果物は町が誇る文化・歴史であり、貴重な資源でもあると感じています」と前置きし、「全国そして世界の多くの方にシャインマスカットの『かがやき』を届け、美味しさに『ラ・ラ・ラ』と、心弾むような感動を感じて欲しい」と、『ラ・ラ・シャイン』に込めた思いをお話してくれました。

町産シャインマスカットのこれまで、これから

『ラ・ラ・シャイン』を生産する仁木ハウスぶどう生産組合シャインマスカット部会は、平成29年から道内では唯一、組合単位で本格的な出荷をスタートさせブランド化を進めてきました。ここでは、仁木町産シャインマスカットに関わりの深い、同組合組合長 山田徹さんと、先代組合長の森敬承さんにお話をうかがいました。

町産シャインマスカット前夜

町産シャインマスカットの歴史は、当時組合長だった森さんの「このまま在来品種に頼っているのは、町産ぶどうの未来は非常に厳しい。時代に沿った新品種を導入し、将来に希望を継いでいかなければ」という強い思いから、組合で10数品種の大粒系高級ぶどうの試験栽培に着手したことに始まります。試験開始から3年、ほとんどが失敗に終わる中、山田さんの園地で本町初となるシャインマスカットがついに実を結びます。

その食味・気候への適合性などを総合的に判断し、森さん、山田さんは町内で本格的にシャインマスカット栽培をスタートさせるべく、日本有数の産地である山梨県を訪れ、栽培技術を学びました。

町が道内随一のぶどう産地

として蓄積してきた技術、果樹産地として恵まれた気候風土を土台に、新しく習得した技術をもって、期待の高級ぶどう、シャインマスカットの生産が始まりました。

『ラ・ラ・シャイン』誕生

平成29年、JA新おたる販売課、町、後志農業改良普及センター北後志支所、後志総合振興局農務課、中央農業試験場など関係機関が協力して、町産シャインマスカットのブランド化に取り組む、ブランド化推進チームが設立されました。

同チームでは、後志農業改良普及センター協力のもと栽培マニュアルを作成し、栽培技術を共有、可視化することで、品質の高位安定化・生産量増に取り組んでいるほか、ニセコ町内リゾートエリアで



仁木ハウスぶどう生産組合
組合長

山田 徹 さん

ブランド化推進チームリーダーも務める山田さん。「これからシャインマスカットに取り組もうという生産者や、新規就農者へ挑戦しやすい環境を用意したい」と栽培技術の確立に意欲を燃やす。



①種無し処理、粒数の調整など、ひと房ごと丁寧に仕上げていく②成長具合をカラーチャートでチェック。この他にも非破壊型の糖度計など様々な角度から品質をチェック③収穫したシャインマスカットを次亜塩素酸水で除菌し冷蔵庫で保存。年末年始時期まで鮮度を保ったまま保存される。除菌に使用される次亜塩素酸水は、時間経過とともに水に戻るため皮ごと食べても安心。④ギフトサイズの『La・La・shine』「今年は収量の1/3ほどが600gを超えるギフト用のクオリティ。年々品質が向上している」と嬉しそうに山田さん。

のPR活動や、ブランド名の公募なども実施。その活動で決定したブランド名が『ラ・ラ・シャイン』です。

「この名前を与えられるのは、生産組合のシャインマスカット部会が生産するシャインマスカットの中で、J A新おたるの選果基準をクリアしたもののだけ。「品質には絶対の自信がある。このたび素晴らしいブランド名を付けていただきましたので、クリスマスから年末年始に『ラ・ラ・シャイン』として、他産地との差別化・有利販売に繋がりたい」とチームリーダーも兼ねる山田さん。シャインマスカットの産地としては後発の本町ですが、山田さんは「ネーミング発表以後、多くの問い合わせをいただき、一定の認知度は得られている」と手ごたえを感じていました。

未来を見据えて

今年の春から、森さんの園地でぶどうの栽培研修を受けている小関元さん。東京の農業団体に勤務していた42歳で、町産シャインマスカットの美味しさに感銘を受け、栽培

を志し本町へ移住を決意したそうです。「小関さんが良い前例となって、ぶどう栽培を志す方が増えてくれたら最高ですね」と森さん。山田さんも「増産に向けての体制は整っている。既存の農家さんからの問い合わせもあり、栽培戸数も増えそう」と今後に期待を寄せます。また、「新しいものに挑戦するのはとても楽しい。『ラ・ラ・シャイン』の名前のように、輝くような明るい気持ちと、ラララとハミングがこぼれるような楽しい気持ちを持って、今後もしっかり組んでいきたい」とこやかに話してくれました。

佐藤町長はネーミング発表会の祝辞で「継続は力なり、数は力なり、団結は力なり。これからも継続して、町の農産物を盛り上げてほしい」と述べました。

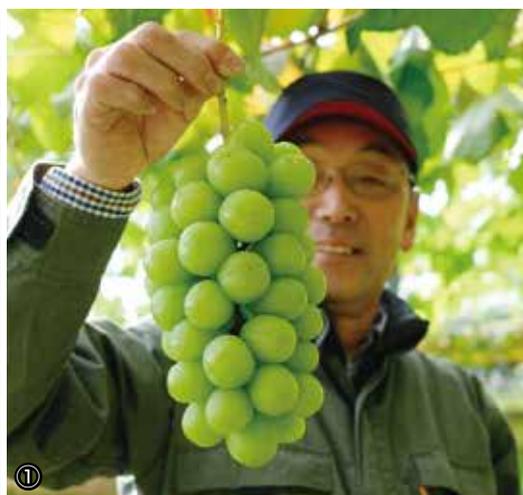
町としても、百有余年もの永きにわたり継続し、磨き上げてきた技術と郷土愛、それを脈々と受け継ぐ多くの町民、ゆかりのある皆さまと団結し、町の更なる発展に向け取り組んでいきます。



仁木ハウスぶどう生産組合
監事

森 敬承 さん

「北海道は、本州に比べ冷涼で湿度も低いため、病害虫の被害が少なく、防除の回数も本州に比べ三分の一程度。皮ごと食べるシャインマスカットでは、安全性をアピールできるのも大きなメリットと言えます」と森さん。



①



③



②



④

①「町のぶどう産業にとって、シャインマスカットの登場はバッファロー登場以来の衝撃」と大きな期待を寄せる森さん。北海道知事が認定する北海道指導農業士の資格を持つ農業のスペシャリスト②この日収穫された最大のシャインマスカットは、なんと1.2kg。「こうしたサイズが収穫できるのも面白さの一つ」と森さん③「町産シャインマスカットは本州のものに負けないおいしさだと思う。早く自分で栽培したい」と話す小関さんはウエイトリフティング選手・ボディビルダーと異色の経歴の持ち主④シャインマスカットを手に笑顔のおふたり。組合員一丸となった取り組みで、目指すは”世界の『La・La・shine』”



町で起こった あんな事! こんな事!

まちの話題

町内のできごと、行事、イベントなどを写真付きで紹介。町では広報紙、ホームページ、SNSなどへ掲載のため、撮影・取材活動を行っています。皆さまのご理解とご協力をお願いします。



NIKI Hills Winery 国産赤ワイン初の快挙!! DWMA 2020 金賞受賞

世界最大級のワインコンテスト『デキャンター・ワールド・ワイン・アワード 2020 (DWMA2020)』で、NIKI Hills Winery 醸造の『YUHZOME 2018』が、95点という高得点で金賞受賞。同コンテストでは国産赤ワイン初の快挙となりました。



ドメーヌ・イチ、ル・レーヴ・ワイナリー ワイナリーが新たに醸造開始

収穫の秋を迎え、町内のドメーヌ・イチとル・レーヴ・ワイナリーが、果実酒製造免許取得後初となる醸造をスタートさせました。

「お客さまのニーズに応えられる、仁木町のドメーヌ・イチならではのワインを作りたい」と醸造責任者の栗田康隆さん。今年から念願の自家醸造に取り組み、ル・レーヴ・ワイナリーの本間裕康さんは「これまで学んできたことを活かして、良いワインを作りたい」とお話ししてくれました。

ドメーヌ・イチ



①



②

NIKI Hills Winery 総支配人の舟津圭三さんは、今回の受賞に対し「国産白ワインでは、過去に金賞受賞がありました。今回の受賞で国産赤ワインがヨーロッパで認められたと感じています。それがNIKI Hills Wineryの、仁木町産のワインというところで本当に嬉しいです」と笑顔。

今後の取組については「赤も白も、町産ワインの世界的ブランド化を目指し、町の気候風土を活かした、仁木町ならではのワイン造りを、ぶどう栽培、ワイン醸造技術に磨きかけ目指したい」とお話ししてくれました。

①「町民皆さまが、敷地内の散策や見学など、気軽に訪れることができるワイナリーにしていきたいですね」と舟津さん
② 金賞を受賞したYUHZOME2018。2019年醸造分が、今後出荷となるので多くの皆さまに楽しんで欲しいとのこと



②



①



ボランティア団体絆 『絆』を結び更なる活動の充実を

町内のボランティア団体絆が、感染症予防に役立てて欲しいと、銀山学園、大江学園、長寿園にハンドソープを寄贈しました。

同団体の細川栄吉代表は「活動をおし多くのの方々とは『絆』を結び、今後も様々な活動に取り組みたい」とお話ししてくれました。



「若者が町のために頑張るのは素晴らしい」と大江学園の渡部仁施設長(右)と、絆の細川代表(中央)、団員の若狭武寿さん(左)



仁木町高齢者事業団 様々な技術を活かせる団体

仁木町高齢者事業団の団員10名が、JR仁木駅の花壇整備を行い、古くなったスイセン、チューリップの球根を植え替えました。

同団体は町内で駅前公園の清掃をはじめ、様々な活動を行っており、現在団員は32名。「優れた技術を持つ高齢者が大勢いる。入会してその技術を活かして欲しい」と水田哲夫理事

問 仁木町高齢者事業団
(02)25556



①東町に新設されたドメヌ・イチ②真新しい醸造施設は、搾汁したポートルンドの芳香でいっぱい③ドメヌ・イチ醸造責任者の栗田さん「インターネットで色々な事を調べられるので、お客さまの知識は本当に凄い。そうしたお客さまを納得させられるよう頑張ります」④旭台にあるル・レーヴ・ワイナリー⑤ル・レーヴ・ワイナリーが実施したボランティアによる収穫作業。「醸造家と話し、綺麗な景色の中で飲むワインは最高です」と参加者⑥「今後はコース料理に合わせて提供できるように、ワインのラインナップを充実させていきたい」と果実酒製造免許を手にル・レーヴ・ワイナリーの本間さん(左)と佐藤町長(右)



ル・レーヴ・ワイナリー



町内で行われたインタビューの様子。「東京では自宅でのテレワークが続いていたので、外に出て仕事ができるのは気持ちが良いです」と笑顔

「I・情報システムや、エレクトロニクスなどの分野で、エンジニア派遣やコンサルティングなどを行う株式会社VSN(東京都)のIエンジニア5名が、町内で2日間、町民へのインタビューをはじめとしたフィールドワークを行いました。

この取組は、都市部で働くエンジニアが、地域のリアルな課題と可能性を実際に体感し、その解決に向けたデジタル化の提案につなげ地方創生を

実現しようというもので、VSNでは、これまでに同様の取組を、国内10地域12市町村で行っていますが、北海道では仁木町が初めて。

今回の取組について佐藤町長は「これまで外部からの力が良いきっかけとなり、住民の協力を得て大きな成果に結び付いたことがあります。今回の取組が、同じく大きな成果に繋がって欲しい」と、今後の展開に期待を寄せました。



町内でフィールドワーク実施

地方創生に向けた新たな取組

東町の林伸一さん(写真右)が、令和2年度北海道社会貢献賞の社会事業関係功労者表彰を受けました。

林さんは平成13年から民生委員児童委員として活動、これまでに全国民生委員児童委員連合会会長表彰や北海道社会福祉協議会会長顕彰を受けるなど、その活動が評価され、今回の表彰となりました。



民生委員児童委員としての活動が評価 林伸一さんに北海道社会貢献賞



町内稲作収穫の秋 大きな被害無く出来秋の喜び

10月に入り、たわわに実ったお米の収穫作業が町内で一斉に行われ、黄色色だった水田は、水が抜かれ来春までしばしのお休みに入りました。

尾根内の稲作農家、木田憲一さんは「今年は初夏に台風崩れの強風があったが、大きな被害もなく、無事収穫の秋を迎えることができました」と出来秋の喜びをお話してくれました。

季節性インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行について

むらかみ

もえ

村上

萌

地域包括支援センター 保健師



11月に入り、とても肌寒い季節になりましたね。この季節になると、季節性インフルエンザの予防を意識される方がいらっしゃるのではないのでしょうか。私も町民の皆さまからインフルエンザに関するお話を聞くことが増えてきました。今年は新型コロナウイルス感染症の流行が続いていることもあり、特に配慮が必要です。

季節性インフルエンザとは？

季節性インフルエンザとは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気で、インフルエンザウイルスの性質が小さく変化しながら毎年世界中で流行します。日本では、例年12月～3月が流行シーズンといわれています。症状は、普通の風邪に見られるのどの痛み、鼻汁、咳のほか、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などです。

季節性インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症の同時流行を防ぐために

日本感染症学会は、今冬は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、インフルエンザとの同時流行を最大限警戒する必要がありますと注意喚起を行っています。

インフルエンザワクチン

は、感染後の発症と重症化を抑える効果があるといわれています。新型コロナウイルス感染症が流行していること

で、インフルエンザワクチンの接種に医療機関へ行くことを懸念される方もいらっしゃると思います。しかし、インフルエンザワクチンを接種することは、一人ひとりが健康を維持するだけでなく、医療機関の混乱を抑え、両ウイルスの同時流行を防ぐためにも大切です。また、インフルエンザワクチンを接種することで、体調が悪くなった際などにインフルエンザの感染を否定しやすくなり、医師の診察にも役立つため、今冬は特に、しっかりと感染対策をした上で、インフルエンザワクチンを接種することが推奨されます。今年度本町では、インフルエンザワクチンの接種料金について、仁木町に住所

料金について、仁木町に住所

＋インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の違い

	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症
症状	ワクチン接種の有無などにより程度の差があるものの、しばしば高熱を呈する	発熱に加えて、味覚障害・嗅覚障害を伴うことがある
潜伏期間	1～2日	1～14日（平均5.6日）
無症状感染	10% 無症状患者では、ウイルス量は少ない	数%～60% 無症状患者でも、ウイルス量は多く、感染力が強い
ウイルス排出期間	5～10日（多くは5～6日）	10日以内
ウイルス排出のピーク	発病後2、3日後	発病日
重症度	多くは軽症～中等度	重症になりうる
致死率	0.1%以下	3～4%
ワクチン	使用可能だが季節毎に有効性は異なる	開発中であるものの、現時点では有効なワクチンは存在しない
治療	有効とされる多くの薬剤がある	軽症例については、確立された治療薬はなく、多くの薬剤が臨床治験中

●参考／一般社団法人日本感染症学会提言 「今冬のインフルエンザとCOVID-19に備えて」

がある満1歳以上満12歳は2回分、満13歳以上は1回分の接種費用が無料となりますので、インフルエンザワクチンの接種を希望される方は事前に医療機関へご確認の上、接種されるようお願いいたします。また、季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症は、一部の症状や潜伏期間などに多少の違いはあるものの、発熱や咳などの症状がよく似ています。そのため、症状があつた場合は自己判断せず、医療機関を受診し診断を受けることも大切です。現在、新型コロナウイルス感染症の流行下ということもあり、皆さまには感染予防を励行していただいていると思います。身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いなどの基本的な感染防止対策はインフルエンザの予防にも有効なため、引き続き徹底をよろしくお願いします。

はじめよう つづけよう 北海道スタイル

新型コロナウイルスとの戦いが長期化しています。私たちは、国が示した「新しい生活様式」の道内での実践に向けて、ライフスタイルやビジネススタイルを変えていかなければなりません。

北海道で暮らす皆さまが互いに感染防止に取り組み、助け合って、新しい社会の構築に向け挑戦していきましょう。

新型コロナウイルスに強い北海道をつくる 7つのポイント



これ以上の感染拡大を防ぐためには 一人ひとりの行動が何より大切です

若い世代における感染の広がりが顕著となっています。若い世代の方々は、感染しても無症状や軽症の方が多く、感染に気づかないまま、普段どおり生活することにより、周囲や重症化リスクの高い高齢者、基礎疾患のある方などに感染させてしまうおそ

れがあります。

今後、感染拡大防止と社会経済活動との両立を図るためには、感染症が拡大しつつある現在の状況を今ここで抑えていくことが重要であり、感染予防に対する一人ひとりの意識と行動が何より大切です。

「感染しているかも」と考えて 常に感染防止対策を意識して行動



町民の皆さまはインフルエンザ予防接種費用が無料(令和2年度) 積極的な予防接種を

新型コロナウイルス感染症との同時流行が危惧されるインフルエンザ。インフルエンザは予防接種により、その発症や重症化を予防することができます。

今年度は仁木町に住所がある満1歳以上の方が予防接種を無料で受けることができます。皆さまの健康を守るため積極的に予防接種を受けましょう。



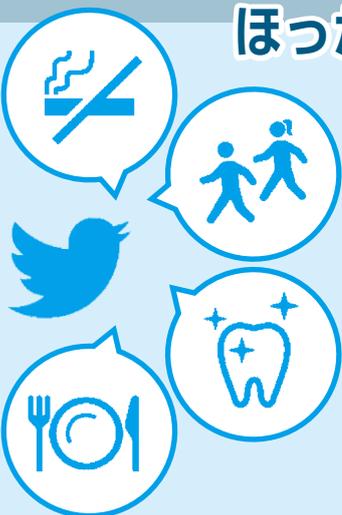
ほっかいどう健康づくりツイッター開設のお知らせ

北海道では、道民の健康づくりに役立つ情報を発信するため、「ほっかいどう健康づくりツイッター」を開設しました。

「栄養・食生活」「運動」「休養」「歯科保健」「受動喫煙防止対策」といった健康づくりに関する情報や「がん・生活習慣病」などの疾病予防に向けた生活習慣に関する情報を発信しています。

まずは“見る”ことから健康づくりを始めませんか？ 次のウェブサイトアドレス（URL）又はQRコードからアクセスしてください。詳しくは倶知安保健所企画総務課企画係（☎0136-23-1952）まで。

●https://twitter.com/Hokkaido_health





No. 08
教育委員会
だより

各小中学校では、続くコロナ禍に負けず、児童生徒の笑顔が溢れ、元気が絶えない学校生活が戻りつつあります。

各小中学校の近状

コロナ禍の中で再開された教育活動

今年も既に11月に入り、肌寒い日が続いています。町一面が雪景色になる日ももうすぐです。本年度の教育活動におきましては、既に半分が過ぎ、3月のゴールまで目前となりました。

6月1日から町内小中学校が再開して5か月が経過し、新型コロナウイルス禍の収束時期が見えない中ですが、新しい生活様式に基づいた感染対策を実施しながら、各小中学校では教育活動が行われています。

仁木小学校では、9月7日～9日に30度を超える暑さの中、3日間に分けてミニ運動会が開催されました。9月23日～24日には、6年生が函館方面へ修学旅行に行き、元気に学習をしております。

仁木小学校では、9月7日～9日に30度を超える暑さの中、3日間に分けてミニ運動会が開催されました。9月23日～24日には、6年生が函館方面へ修学旅行に行き、元気に学習をしております。

銀山小学校では、9月2日の3・4年生による社会科見学をはじめ、9月25日には、延期となっていた遠足が実施され、10月22日～23日には5・6年生が函館方面へ修学旅行に行きました。また、12月には音楽発表会を予定しています。

仁木中学校では、10月3日に学習発表会が行われました。学年毎の合唱とVTRによる学年発表が行われ、10月21日～23日の修学旅行では、北海道グリーンランドから旭山動物園を経由し、最後は白老町のウポポイまで行きました。

銀山中学校では、9月4日に競歩大会が行われ、全員がリタイヤすることなく完歩しました。10月3日に銀中祭が行われ、10月20日～23日の修学旅行では、道東知床方面へ行ってきました。

30年ぶりの快挙に向けて

関虎大朗さん甲子園出場なるか



10月11日(日)に札幌円山球場で第73回秋季北海道高校野球大会決勝戦が行われ、仁木野球スポーツ少年団出身の関虎大朗さんが在籍する北海高校が、見事、10年ぶり12度目の優勝を果たしました。

試合は、息詰まる投手戦となりましたが、旭川実業高校を1対0で撃破。8番センターで先発出場した関さんは、安打こそなかったものの、好守によりチームの勝利に貢献し、全道大会の通算成績は、11打数3安打となりました。

優勝した北海高校は、来春、甲子園で開催が予定されている第93回選抜高等学校野球大会の出場に大きく近づき、出場するとなると、本町からの甲子園大会出場は、平成3年の第73回全国高等学校野球選手権に北照高校の一員として出場した渡寛さん以来、30年ぶりの快挙になります。

仁木町やすらぎ大学

9月30日(水)と10月28日(水)の両日に、仁木町民センター・交流ホールにおいて、第3回、第4回仁木町やすらぎ大学を開催しました。第3回では、学生が講師となり、「ふまねっと運動」を皆で楽しみ、第4回では、「ぬり絵」を完成させました。今回作成した「ぬり絵」と第2回で作成した手芸作品は、仁木町民センター・図書室前にて展示しました。

次回は11月25日(水)に「音楽を楽しむ」を開催します。



①9月30日の「ふまねっと運動」。手拍子や歌に合わせて、ネットを踏まないよう考えながら進みます。頭にも体にも良い運動になります②10月28日の「ぬり絵」。1枚の塗り絵を4分割して、グループごとにそれぞれ仕上げて個性豊かな1枚の塗り絵を完成させました。

仁木町子ども体験塾

10月17日(土)に子ども体験塾第4回講座「秋のハイキング大会」(仁木町体育協会主催)が開催され、山村開発センター前から旭台方面へ約5・5kmのコースを、参加した児童33名を含む72名が踏破。スポーツの秋に心地よい汗を流しました。



旭台地区のワイナリーや余市川を眺め、気持ちの良い秋晴れの中ハイキングを楽しみました。

仁木中1年西條悠河くんが男子砲丸投で見事2位入賞

10月4日(日)に釧路市民陸上競技場で行われた2020U15チャレンジ陸上において、仁木中学校1年生の西條悠河くんが男子砲丸投で9m69を記録し、見事2位に入賞しました。男子走幅跳に出場した中村伊吹くんは5m04の記録で10位でした。

宝くじ助成金で若鮎太鼓を整備

若鮎太鼓郷土芸能保存会(木村雄二会長)は、一般財団法人自治総合センターによるコミュニティ助成事業の補助を受け、念願の太鼓の整備を行いました。この事業は、同センターが全国自治宝くじの受託事業収入を財源として、住民のコミュニティ活動を促進し、その健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報を目的に行われています。

今後は整備した太鼓を活用し、仁木町内各所のイベントや行事等で演奏を披露し、地域におけるコミュニティ活動の活性化をはじめ、青少年の健全育成及び地域文化の伝承と振興に寄与することが期待されます。なお、今回整備したのは太鼓9台です。



「食育・健康セミナー」の延期について

11月6日(金)に開催を予定しておりました食育・健康セミナー(食育・健康セミナー)について、道内の新型コロナウイルス感染症拡大に伴いまして、延期とさせていただきます。ご来場を楽しみにしていただくことになりました。皆さまに心よりお詫びを申し上げます。なお、延期後の再案内については、決定次第、皆さまに周知させていただきます。



あきらめない

芳岡 陽南
銀山小学校 6年

最初は徒競走。体が緊張で自由に動きません。心臓はドクン、ドクンとなってます。そんな時、小夏さんに、「陽南に勝てるかな? いや絶対勝ってやる!」と言われ、「え〜」。と思いました。絶対負けなから!」と言いました。こう言ったからには勝たなければなりません。変なプレッシャーが足を震わせました。「位置について、よいピー!」スタートしました。小夏さんにぬかされたり、ぬき返したりとい勝負です。ずっとひやひやしていました。そして、ゴールその瞬間かたの荷がずつとおり、体が自由に動くように感じました。結果は私の勝ちです。ぬかされた時、「えっ、うそ!」と思いました。でも、「最後の徒競走だ。負けるな!」そう自分に言い聞かせ全力で走りました。私はここまで徒競走をがんばったことはありません。この時初めてここまでがんばることができたので。やはり、「あきらめない」ということは大切なんだと実感しました。



町からのお知らせ

仁木町が取り組んでいる各種事業・施策、国・北海道・関連機関からのお知らせなど、暮らしに役立つ情報をご紹介します。活用してみたい制度や、気になる情報がありましたら、お気軽にお問い合わせ先までご連絡ください。



コロナ禍に対する各種補助制度のご案内

●高収益作物次期作支援交付金

令和2年6月に、おうとう（サクランボ）の出荷実績（観光農園も可）があるか、又は廃棄などにより出荷できなかった農業者のうち、前年よりおうとうの売上*が減少した農業者に、右記のうち最も小さい額を支援します。（売上*：6月だけではなく、1年間の内、おうとう全体の売上をいいます。）

- (1) 前年と比較した、おうとうの売上減少額
 - (2) 現在のおうとうの面積×5.5万円／10a
 - (3) 来年に取り組むおうとうの面積×5.5万円／10a
- （注）対象となる面積について、生産・流通コストの削減や資材等の導入などに取り組む必要があります。

問 産業課農政係 ☎ 32-2515

●持続化給付金

税務申告している方のうち、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、今年のいずれかの月の事業収入が、昨年申告した年間事業収入を12で割った額（平均月収）の50%以下となった方に、**法人で200万円、個人事業主で100万円を上限**に支給します。

基本的には、「電子（オンライン）申請」での受け付けとなります。ご自身で電子申請を行うことが困難な場合は、令和2年10月より右記のとおり予約制の申請サポート会場が開設されていますのでご利用ください。

持続化給付金申請サポート会場のご案内

- 申請サポート会場：札幌会場（会場コード／0101）
住 所：札幌市中央区北4条西7丁目1-5
NCO 札幌ホワイトビル6F（土曜・祝日定休日）
- 申請サポート会場予約・持続化給付金相談窓口
☎0120-279-292 受付時間 8:30～19:00
（土曜・祝日を除く日曜～金曜）
- 申請期間 令和3年1月15日（金）まで

予約制

- 農業者で給付要件に該当する方は、JA新おたる営農課までお問い合わせください。

問 JA 新おたる営農課 ☎ 32-2525



安心・便利・確実な口座振替をおすすめします

仁木町では、町税など口座振替による納付を推進しています。口座振替にすると、納期ごとに役場や金融機関で手続きすることなく、自動的に口座から引き落とされるので、納め忘れる心配もありません。口座振替を希望される場合は手続きが必要となりますので、詳細は各係までお問い合わせください。

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 問 財政課税務係（住民税、固定資産税、軽自動車税種別割） | ☎ 32-2512 |
| 問 ほけん課国保医療係（国民健康保険税、後期高齢者医療保険料） | ☎ 32-2514 |
| 問 建設課水道係（水道料） | ☎ 32-3639 |
| 問 建設課建築係（町営住宅・駐車場使用料、特公賃住宅・駐車場使用料） | ☎ 32-2516 |
| 問 住民課おもいやり係（保育料） | ☎ 32-2513 |



仁木町生活支援事業「除雪サービス」の申請を受付します

お問い合わせ先
ほけん課介護保険係
☎32-2514

仁木町では、冬期間、高齢者の日常生活に必要な道を確保する目的で、除雪サービス事業（生活支援事業）を実施しています。

除雪サービスを希望される方は、ほけん課介護保険係で配布する申請書に必要事項を記入・押印のうえ**11月24日（火）まで**に申し込みください。

- 対象要件 高齢者（65歳以上）の単身世帯、高齢者のみの世帯で自力での除雪が困難な方
- 実施内容 令和2年12月から令和3年3月（降雪期間）までの間、次の条件で除雪サービスを提供します
 - ・前日からの積雪が10cmを超えた場合
 - ・除雪する範囲は、玄関から公道まで（幅は1m程度）
- 利用料 1回につき290円
- 申請書提出先 仁木町ほけん課介護保険係（〒048-2492 仁木町西町1丁目36番地1）
申請書の郵送を希望される方は、ほけん課介護保険係までご連絡ください。



令和元年度決算に基づく健全化判断比率と資金不足比率を公表します

お問い合わせ先
財政課財政係
☎32-2512

●全ての比率が国の基準内！

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、財政の健全性に関する比率の「健全化判断比率」「資金不足比率」を公表します。

健全化判断比率により地方公共団体は、実質赤字比率などの各財政指標で「健全段階」「早期健全化

段階」「財政再生段階」に区分され、早期健全化段階や財政再生段階となった場合には、財政運営の健全化を図るための計画策定が必要となります。

令和元年度決算において、仁木町は全ての比率が国の基準を下回っています。

I 健全化判断比率

(単位：%)

指標	仁木町	前年度(参考)	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	※1 -	-	15.00	20.00
②連結実質赤字比率	※2 -	-	20.00	30.00
③実質公債費比率	9.9	9.4	25.0	35.0
④将来負担比率	5.9	5.3	350.0	

II 資金不足比率

(単位：%)

指標	仁木町	前年度(参考)	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	※3 -	-	20.00

※3 資金不足比率は、資金不足額がないため、「-」で表示しています。

※1 実質赤字比率は、実質赤字額がないため、「-」で表示しています。

※2 連結実質赤字比率は、連結実質赤字額がないため、「-」で表示しています。

用語解説

●実質赤字比率

福祉、教育、まちづくり等を行う一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。

●連結実質赤字比率

仁木町の全ての会計の赤字や黒字を合算し、町全体の赤字の程度を指標化し、町全体としての財政運営の深刻度を示すものです。

●実質公債費比率

借入金（地方債）の返済額やこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すものです。

●将来負担比率

一般会計の借入金（地方債）残高だけでなく、将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高の度合いを指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す

ものです。

●資金不足比率

公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の悪化の度合いを示すものです。

【留意事項】

地方公共団体財政健全化法上の財政指標は法定の指標であり、財政の健全化や再生の観点から、地方公共団体の財政の実態を明らかにするための最低限のルールとなります。

したがって、各財政指標が早期健全化基準を下回れば財政運営上何ら問題がないということではなく、他の指標の活用も含め、今後も財政状況を的確に分析し自主的に必要な対応を行うなど、適切な財政運営に努めなければなりません。

伝くくらしの伝言板



誕生、おめでとうございま
平畑みえるちゃん
木田 凛ちゃん

然別の平畑貴弘さん、大江の木田政志さん宅に、それぞれ3人目のお子さんが誕生し、『仁木町出産祝金支給要綱』に基づき、出産祝い金を贈らせていただきました。

平畑さん、木田さん、新しいご家族の誕生、まことにおめでとござい
ます。



過度な受診控えは健康上のリスクを高めます

自己判断で受診を控えると慢性疾患の病状悪化や免疫力低下によりウイルスに対抗できない状態になることがあります。コロナ禍でも持病の治療や予防接種・健診等の健康管理は重要です。

まずは、かかりつけ医に相談しましょう。

問 ほけん課保健係
☎(332)2514



町税は納期内に納めましょう

皆さんの暮らしを支える大切な財源となります

●暮らしを支える町税と国保税

町税と国民健康保険税は、暮らしや地域医療を支える大切な財源となり、皆さんで公平に負担しています。納められた町税は、ごみの処理や道路維持、公園整備、教育、消防、子育て支援や各種福祉サービスに使われています。

●皆さんからの納税がなければ

町の財源が不足して、行政サービスの低下を招き、ご不便をかけることとなります。

●納付は期限内に

期限内に納付している人との公平性が保てなくなり、町税と国保税は必ず期限内に納めてください。

また、期限を過ぎて納付された場合、期限内に納付された方との公平性を保つため、本税のほかに延滞金がかかりますので、ご注意ください。

問 財政課税務係

☎(332)2512

問 ほけん課国保医療係

☎(332)2514



農業委員会からのお知らせ

農地に関する情報を募集しています

農地情報は、現在JA新おたると仁木町のホームページで公開しています。これらのホームページを見た方の問い合わせは、決して少なくありません。

就農するために農地を求めて相談に来られる方がいても、紹介できる農地は限られています。現在公開している情報は17件です。

申し出される方は、農地の状況（作付けしている作物など）や施設・機械の情報、希望する金額等も伝えるようにしてください。

ただし、農地情報が掲載されてもすぐに売買・貸借が成立するわけではありません。



平和を守る、力になる。各種自衛官募集

自衛隊では、自衛官候補生(男子・女子)、陸上自衛隊(高等学校在校生)一般・推薦)を募集しています。

なお、自衛官候補生及び一般曹候補生の採用年齢が、18歳以上33歳未満に改正されました。詳しくは、左記までお問い合わせください。

問 自衛隊札幌地方協力本部小樽地域事務所
☎0134(22)5521



戸籍の窓

●こんにちは赤ちゃん

亀谷 恵采ちゃん(南 町)

桑島 健輔ちゃん(東 町)

●いつまでもお幸せに

大原良太さん 伊藤 彩さん(東 町)

●ご冥福をお祈りします

安達 重雄さん(101歳/北 町)

山田 喜榮さん(94歳/北 町)

種市 光男さん(72歳/銀 山)

四宮 武彦さん(83歳/西 町)



国民年金に関するお知らせ

●「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が発行されます」

～確定申告等まで～

大切に保管を！

国民年金保険料を納付された方に「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が日本年金機構から送付されます。

令和2年1月から令和2年9月末までに納付された方には11月上旬に、10月から12月末までの間に初めて国民年金保険料を納付された方には、翌年の2月上旬に送付されます。

国民年金保険料は、所得税や住民税の申告において社会保険料控除の対象となりますので、年末調整または、確定申告の際には必ずこの証明書（または領収証書）を添付してください。なお、ご家族が国民年金保険料を納付された場合も、社会保険料控除に加えるこ

とができます。

●保険料の免除期間・納付猶予期間がある方へ
保険料の免除・納付猶予・学生納付特例の承認を受けた期間がある方は、保険料を全額納めた方と比べ、老齢基礎年金の受取額が少なくなります。

将来の受取額を増額するため、免除などの承認を受けた期間の保険料を10年以内であれば遡って納めることができます。

詳しくは、ねんきん加入者ダイヤル（☎0570(003)004）または小樽年金事務所へお問い合わせください。

国民年金に係る照会や相談については、左記までお問い合わせください。

問 小樽年金事務所

☎ 0134(65)5002

問 住民課住民係

☎ (32)2513



余市警察署だより

冬型事故の防止



11月、雪が降り始めると、スリップ事故が急増します！

ドライバーは『雪や氷は滑る』という事をわかっているはずですが、事故は起きてしまいます。その原因の一つに

11月や12月の最低・最高気温は、水が凍結する0度を挟み変化します。そのため、降雪や降雨後、路面が湿潤と凍結をくり返し、乾燥路面の中に、部分的に凍結路面が発生するため、運転手は急な路面変化に対応出来ずスリップしてしまう。

という事が考えられます。



凍結しやすい場所は、橋の上や交差点付近、トンネルの出入り口付近、建物の陰になる所ですが、夜間のブラックアイスバーンなど、発見が難しい路面もあります。

ドライバーは、速度を落とし、時間と心にゆとりをもって運転すると共に、路面状況に気をつけながら、『急ハンドル』『急ブレーキ』『急加速』といった『急』のつく運転をしないように気をつけましょう。

また、スリップ事故で死亡事故となるケースで最も多いのは『直線道路で普通車が対向車線にはみ出し、大型や中型の車と正面衝突をしてしまう事故』です。

これは、大型車が近付いてくると、心理的な圧迫から「左に寄ろう、減速しよう」と考え、急ハンドルや急ブレーキをしてしまい、その結果スリップし事故になるというものです。



衝突直前の速度が40km/hを超えると死亡事故の割合が高くなるので、速度を落とし慎重な運転を心がけましょう。

問 余市警察署 ☎ 22-0110

仁木町内での事故発生状況

区分	件数	死者	負傷者
10月発生件数	一件	一人	一人
R2年累計	2件	0人	3人

※令和2年1月1日から人身事故のみ集計

468日

交通事故死ゼロの日
R元.7.21～R2.10.31

11月

●行事名 会 会場 問 お問合わせ先 ☎電話番号 ✉メール 当番病院 歯科当番医 水道修理

- 24(火) ●リハCaféニキボー（尾根内地区）会 尾根内会館 / 13:30~15:30 問 地域包括支援センター ☎32-3855 ※予約制
●子ども向け英会話教室（1・2年生）会 町民センター・保健センター / 15:45~ 問 教育委員会 ☎32-3621 ※対象者のみ
- 25(水) ●第5回仁木町やすらぎ大学「音楽に親しむ」会 町民センター / 9:20~ 問 教育委員会 ☎32-3621 ※対象者のみ
●子ども向け英会話教室（3・4年生）会 町民センター・保健センター / 15:45~ 問 教育委員会 ☎32-3621 ※対象者のみ
- 26(木) ●第15回仁木町農業委員会総会 会 委員会室 / 10:00~ 問 農業委員会 ☎32-3952
●第1期短期集中予防サービス運動教室 会 町民センター / 第1部 10:00~11:30 第2部 13:30~15:00
問 地域包括支援センター ☎32-3855 ※参加者募集中
●あんしん無料法律相談 会 保健センター / 13:30~14:30 問 社会福祉協議会 ☎32-3959 ※予約制
●子ども向け英会話教室（5・6年生）会 町民センター・保健センター / 15:45~ 問 教育委員会 ☎32-3621 ※対象者のみ
- 27(金) ●運転免許更新時講習 違反講習 / 13:00~ 優良講習 / 15:30~ 会 余市町中央公民館 問 余市警察署 ☎22-0110
●1歳・1歳6か月・3歳児健診 会 保健センター / 13:00~ 問 ほけん課 ☎32-2514 ※対象者のみ
●第8回ブックスタート事業 会 保健センター / 13:30~ 問 教育委員会 ☎32-3621 ※対象者のみ
- 28(土) ●仁木町子ども体験塾第5回講座「ものづくりマイスター タイルアート教室」会 町民センター / 9:00~ 問 教育委員会 ☎32-3621 ※対象者のみ
☎長内水道配管 ☎32-2105
- 29(日) ☎わたなべ内科医院 ☎22-3989 ☎Niki配管設備 ☎32-2647
- 30(月)
- 12月
- 1(火) ●フルーツの里キッチン料理教室友の会 会 保健センター / 10:00~13:00 問 ほけん課 ☎32-2514 ※予約制
※一部会場が変更になる場合がございます。
- 2(水)
- 3(木) ●仁木町営住宅入居者募集申込締切 問 建設課 ☎32-2516
●広報『仁木』12月号発行 問 総務課 ☎32-2511
●第1期短期集中予防サービス運動教室 会 町民センター / 第1部 10:00~11:30 第2部 13:30~15:00
問 地域包括支援センター ☎32-3855 ※参加者募集中
- 4(金) ●離乳食教室 会 保健センター / 10:00~12:00 問 ほけん課 ☎32-2514 ※対象者のみ
- 5(土) ☎関組 ☎22-4782
- 6(日) ☎北郷耳鼻咽喉科医院 ☎23-5533 ☎北悠建設 ☎32-3101



11月11日(水)~17日(火)は「税を考える週間」です

国税庁では、国民の皆さまに租税の意義や役割、税務行政に対する知識と理解を深めていただくため、毎年11月11日から17日を「税を考える週間」として、集中的に様々な広報活動を行っています。

●税に関する書道展の開催について

小中学校の児童、生徒の皆さまが税について考え、表現した元気溢れる作品の展示を行います。展示会に関するお問い合わせは、余市税務署総務課（☎22-2093）までお願いします。

○日 時 令和2年11月6日(金)12時00分~17日(火)13時00分（営業時間は9時00分~21時00分）

○会 場 イオン余市店1階総合催事場前（余市郡余市町黒川町12丁目62-1）

※作品の写真撮影は自由ですが、他の方の迷惑にならないようご配慮願います。

国税庁ホームページから確定申告（e-Tax）

所得税・消費税・贈与税の申告書は、国税庁ホームページから作成できますので、是非ご利用ください。また、給与収入がある方や年金収入、副業などの雑所得がある方は、スマートフォン、タブレットからも所得税の申告書を作成いただけます。是非、スマートフォンでe-Taxをご利用ください。

まちのカレンダー

まちの『どうしたらいいの?』は、以下の担当課までお問い合わせください

- 戸籍、出生・死亡、ごみなどのお問合せは **問 住 民 課** ☎32-2513
- 国保、介護、育児、健康相談などのお問合せは **問 ほ け ん 課** ☎32-2514
- その他、行政に関するお問合せは **問 総 務 課** ☎32-2511

● 令和2年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5

● 令和2年12月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

● 行事名 **会** 会場 **問** お問い合わせ先 **☎** 電話番号 **✉** メール **+** 当番病院 **🦷** 歯科当番医 **🚰** 水道修理

11月

12(木) ● 広報『仁木』11月号発行 **問 総務課** ☎32-2511

13(金) ● あんしん無料法律相談 **会** 保健センター／15:30～16:30 **問** 社会福祉協議会 ☎32-3959 ※予約制

14(土) **🚰** 北悠建設 ☎32-3101

15(日) **+** よいちクリニック ☎21-4570 **🚰** 高橋配管設備 ☎22-5571

16(月)

17(火) ● リハCaféニキボー（銀山地区）**会** 銀山生活改善センター／13:30～15:30 **問** 地域包括支援センター ☎32-3855 ※予約制

● 運転免許更新時講習 一般講習／13:00～ 初回講習／14:30～ **会** 余市町中央公民館 **問** 余市警察署 ☎22-0110

18(水) ● 無料法律相談 **会** 余市中央公民館／13:00～16:00 **問** 総務課 ☎32-2511 ※予約制

19(木) ● 仁木町営住宅入居者募集申込開始 **問** 建設課 ☎32-2516

20(金) ● いきいきクラブ **会** 保健センター／13:30～15:30 **問** 地域包括支援センター ☎32-3855 ※対象者のみ

21(土) **🚰** 堀川管工設備工業 ☎23-3032

22(日) **+** よいち整形外科クリニック ☎48-5000 **🚰** 今野設備 ☎090-3118-4433

23(月) 勤労感謝の日 **+** 脳神経外科よいち港南クリニック ☎21-5566 **🚰** 藤田設備 ☎32-3672



12月1日(火)1便から、ニキバス運賃のお支払いに電子マネー『WAON』の使用が可能となります



● バスに乗るとき

乗車口左側の青い端末機（乗り口）に「WAON」をタッチ。『ピッ!』と鳴ったら乗車してください。



● バスを降りるとき

乗務員左後方の青い端末機（降り口）に「WAON」をタッチ。『ワオン!』と鳴いたら、表示の運賃を確認して降車してください。



※障がい者割引等でのご利用の際は、降車タッチ前に乗務員にお知らせください。

■ 電子マネー「WAON」の使用方法について

- ・ニキバス運賃の支払、回数券の購入の際にWAONを使用できます。
- ・WAONでのお支払い200円につき、1ポイントが貯まります。貯まったポイントは、電子マネーとして使用できます。（ポイント交換が必要です）
- ・チャージ金額が支払額に満たない場合は、全額現金でのお支払いになります。

■ その他

- ・ニキバスの車両点検整備等により、代替車両が運行する場合があります。その場合、WAONは使えませんのでご了承ください。
- ・ニキバスへのWAON決済端末導入については、公共交通のキャッシュレス化等を目的とした、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しています。

道では

道産ワイン品質強化研修事業として

「北海道ワインアカデミー」を毎年開催しています。講座は栽培コースと研修コースの2コースがあり、今年度、両コースを受講させていただいています。座学は主に札幌の北海道大学構内で行われますが、受講生は北見市や東川町からの参加もあり、道内各地でワインづくりをチャレンジする方々がいらつしやるのが伺えます。各コースは1年で、各々6日程度開催され、8月には栽培コースの現地研修で、3日間をかけて道内のブドウ畑を見学、畑主から畑の説明や栽培のポイント等の話を伺いました。

1日目の研修先は余市・仁木両町で、「ぶどう作りの匠」田崎氏の田崎ヴィンヤードや昨年畑を開設した美園のバーガンディー、今年苗木を植えたばかりの登町の喜久氏の農園、有機認証を受けている自然農園の4か所を回りました。道内の他の地区から初めて訪れた方は、「北海道にこんなに果物がなっている所があるなんて」と驚いた様子でした。

また、2日目の研修先は三笠市で、ぶどう畑の眺めが素晴らしい山崎ワイナリー、山崎ワイナリーで研修された濱田氏の濱田ヴィン



仁木町地域おこし協力隊コラム
地域をおこすって **なあ〜に。**

**北海道ワインアカデミー 栽培コース
現地研修 (道内ブドウ畑めぐり) に
参加して**



仁木町地域おこし協力隊
鈴木 綾子



ヤード、低農薬栽培のタキザワワイナリー、混植混醸の近藤ヴィンヤード、タブコブ農場をめぐり、最終日の3日目については、今年ワインを初リリースした千歳市のチヨコトウルーフアームや馬耕をしている岩見沢市の近藤ヴィンヤード、モセウシ農場を回りました。

チヨコトウルーフアームでは、北海道大学大学院農学研究院の先生による土壌調査の仕方の実演があり、ユニポで深く掘られた穴の土の色や性質、地層の説明、土壌の水管理等のお話をお聞きしました。

8月の終わりの大変暑い3日間でしたが、講師の方々には皆さん熱心にお話され、受講生からの質問にも丁寧に答えて頂きました。三笠市や岩見沢市、千歳市では、ブドウの凍害が深刻で、収量も少ないということですが、地元でとれたブドウでワインをつくることにこだわって、皆さん日々尽力されています。あらためて、仁木町は北海道の中でも果実栽培には恵まれた土地であることを実感しました。近年いわゆる温暖化も一長一短として、自身の畑では、これまで熟しにくかったブドウ品種も試していけたら良いと思います。

広報仁木 表紙写真募集中



広報仁木では、広報の表紙を飾る、町内の四季を切り取った写真を募集しています。デジタルカメラだけでなく、スマートフォンで撮影いただいた写真でも構いません。「とっておきの仁木町」の写真を、ぜひお寄せください。応募方法など詳しくは、下記までお問い合わせください。



真っ赤に色づいたほうき草をバックに、秋空に向かって真っすぐ伸びる仁木町の花『コスモス』。鮮やかに色づいた山々の紅葉とともに、私たちの目を楽ませてください。山も野も、真っ赤に命を燃やす秋。冬の訪れはすぐそこまで迫っています。

📷 今月の表紙

(撮影場所/西町)

●お問い合わせ先 総務課広報交通係 ☎32-2511